

## 令和5年度第2回四国中央市男女共同参画審議会会議録

1. 開催日時 令和6年2月19日（月） 19時00分から20時20分
2. 場 所 市役所市民交流棟 2階会議室2
3. 出席者（委員長）村上智子  
（副委員長）大西広志  
（委 員）篠原恵子、田淵典子、猪川佳子  
内川眞千子、高橋英理子、鈴木有美 （敬称略）  
（事務局）政策部長 高橋哲也、地域振興課長 西岡孝文  
地域振興課男女共同参画係 細川純生、仁野葉月  
（こども家庭課）石川 みちる、川端 一美  
（保健推進課）石津 薫、木元 真由美
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
  1. 開会  
委員長あいさつ
  2. 議事
    - (1)【関連施策ヒアリング】
      - ・ひとり親支援について
      - ・母子保健事業について
    - (2) その他
  3. 閉会
6. 会議録 次頁のとおり

# 会議録

	<p>委員長あいさつ</p> <p>●議事（１）【関連施策ヒアリング】 ひとり親支援についてこども家庭課より説明</p> <p><b>説明後、質問を受け付ける。</b></p>
委員	母子に注目されがちだが、父子についての支援はどうか。
担当課	母子、父子ともに同じように支援があり、申請をしている父子の方もいる。
委員	窓口に来る人はひとり親支援についての情報を知って来ているのか、それとも説明を受けて初めて知るのか。
担当課	離婚を考えている人が手当などについて相談に来られる方や離婚の予定があるので事前相談に来る方もいる。また、離婚届けを提出した方が今後についての相談をされる方もいる。
委員	離婚の事前相談と事後相談の割合はどの程度か。
担当課	最近は事前相談の方が多い印象がある。
委員	そうするとひとり親支援の周知が上手く行き届いていると言えるのでは。
担当課	窓口センターにもひとり親支援のサポートブックを置いており離婚届を取り来た方には配布をお願いしており、相談に来る方の状況に応じた資料を渡せるように用意している。 近年はスマホなどでも情報を得ることが出来るようにサポートブックには法務省や養育費等相談支援センターなどのホームページへの QR コードも載せており広く情報提供を行っている。
担当課	●議事（１）【関連施策ヒアリング】 母子保健事業について保健推進課より説明 <p><b>説明後、質問を受け付ける。</b></p>
委員	若年の妊婦という話があったが、四国中央市では母子手帳をもらうなどの手続きを踏まない（飛込）出産はあるのか。
担当課	つい最近あったが、このケースはまれで十数年ぶりのことで、この方は若年層

	ではなかった。
委員	若年層の出産はあるのか。
担当課	中学生はない。高校生についてもほとんどなく以前と比べても減っている。他市と比べても四国中央市の若年層の出産が多いという状況にはない。
委員	中学1年生を対象にプレコンセプションケアについて行っているので教育が行き届いているということなのかと思うが、聞かれる学生さんについてはどうか。
担当課	理解度については生徒によってかなり個人差があると感じる。学校でも保健体育の授業等もあるがなかなか結びついていない生徒もあり、養護教諭の先生と相談しながら検討しているところである。
委員	令和6年度から対象を中学1年生から3年生へとする理由は。
担当課	中学卒業後に社会に出る生徒さん中にも中にはおり、内容の理解度を上げるには中学3年生の方が適していると思われる。また、文部科学省が今年度より「命の安全教育」というカリキュラムを小中高で進めておりそのあたりを総合しての考えである。
委員	養護教育の先生方が各学校の状況などについて相談することはあるのか。
担当課	部会や定例会で定期的に月1回程度は話し合いを持たれている。また、市の担当が検討内容などを養護教諭の方と相談もさせてもらっている。
委員	学校の授業以外で性教育について親はどこまで子どもに伝えれば良いのか。判断が難しいと思うが。
担当課	文部省が使っている言葉の有無を定めていることもあり伝えるのは本当に難しいところがある。できるだけ理解できる部分についてお伝えしている範囲については伝えるようにしているところである。
事務局	<p>●議事（2）その他として、来年度事業計画、男女共同参画計画に関するアンケート調査について事務局より説明</p> <p>●フリートーキング</p> <p>以上で、令和5年度第2回四国中央市男女共同参画審議会を閉会する。</p>